

ゼロカーボン北海道 について

北海道経済部ゼロカーボン推進局地球温暖化対策課
地球温暖化対策促進担当課長 樋口 知己

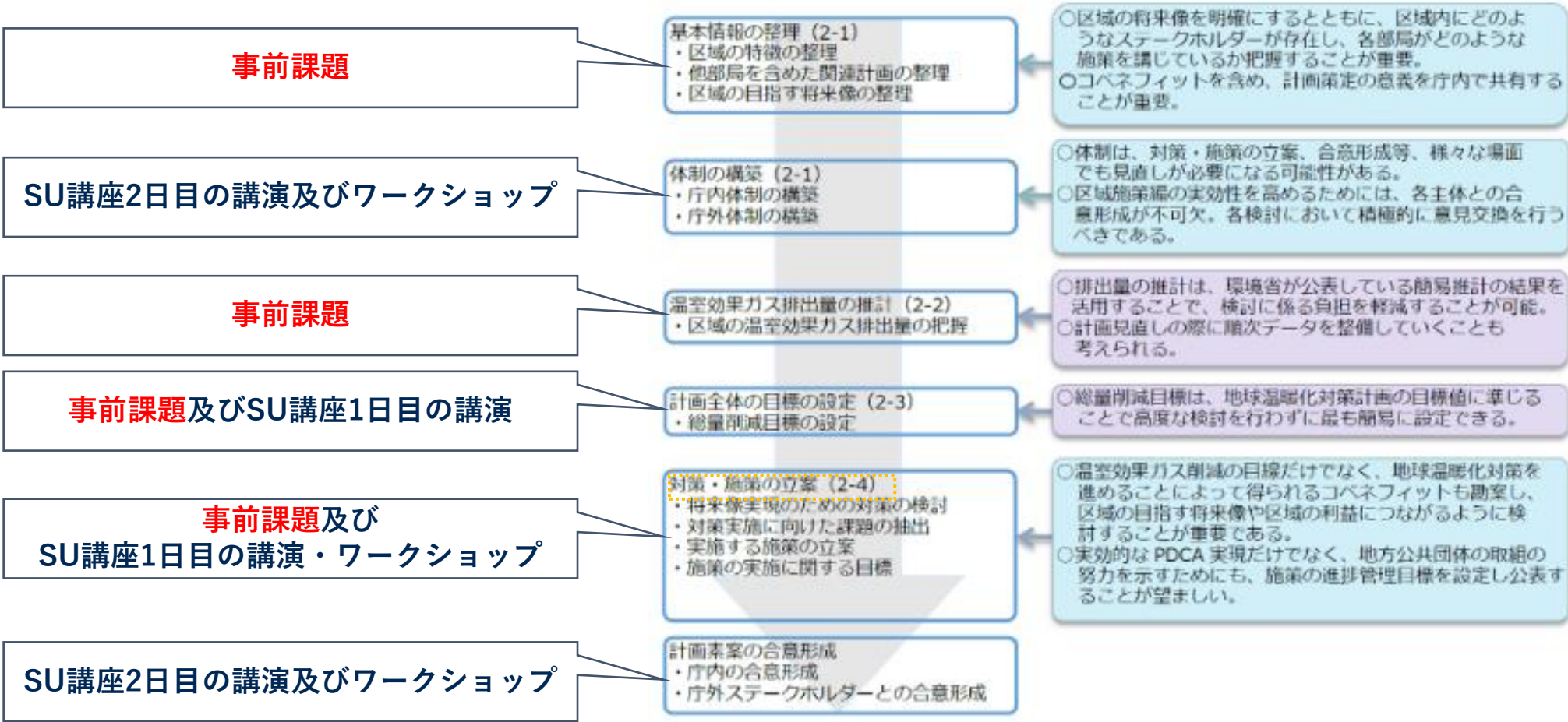
• 地域脱炭素ステップアップ講座 本ワークショップの目的

- 本講座を通じて、道内の各自治体が実行計画（区域施策編）策定のために必要なタスクを理解することで、各自治体が**北海道庁と連携して実行計画（区域施策編）が策定できる**ようになること
- 実行計画（区域施策編）の策定及び実行に向けた課題の洗い出しと対策案の企画を実施することで、**各自治体が脱炭素に向けて適切なアクションが実行できる**ようになること

■ 本ワークショップのゴール

- 本講座の事前課題及びワークショップを通じて、実行計画（区域施策編）の骨子を作成することで、今後の**実行計画（区域施策編）本編の作成及び計画実行に向けた課題とアクションプラン**が明確になる

➤ 実行計画の策定プロセスの例として下図が挙げられています。事前課題及び本ステップアップ講座（以下SU講座）で実施するワークショップの位置付けは以下の通りです。

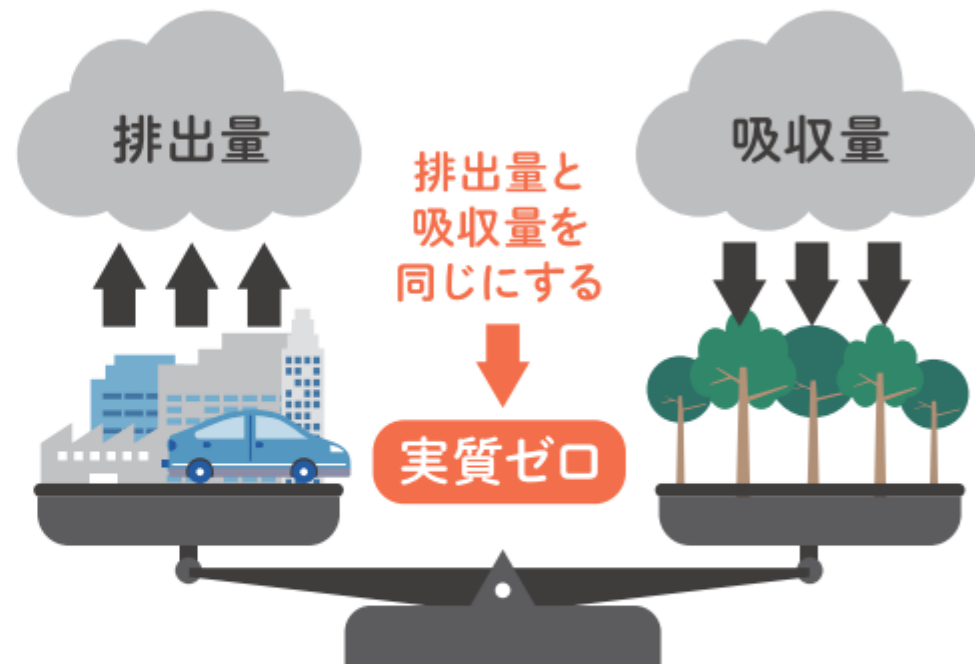


ゼロカーボン北海道とは？

2020年3月、北海道は国に先駆けて2050年までに温室効果ガス実質排出量のゼロを目指すことを宣言しました。

北海道は、環境と経済・社会が調和しながら成長を続ける「ゼロカーボン北海道」を実現します。

人間活動によって排出される温室効果ガスの排出量と森林等による吸収量を均衡させて、実質ゼロとなることを「ゼロカーボン」と定義しています。



ゼロカーボン北海道で実現する未来

脱炭素化

経済活性化

持続可能な地域づくり

同時に推進！



**ZERO CARBON
HOKKAIDO**

私たち北海道の目標

CO₂などの温室効果ガスの排出量を2013年度と比べ、

2030年度
までに

-48% (3,581万t-CO₂の削減!)

2050年
までに

実質ゼロ!

目標の実現のため、ライフスタイルやビジネススタイルの
脱炭素化への転換などを進めましょう!

北海道の今はどうなっている?

気候変動がもたらす北海道への影響を理解することが、ゼロカーボンの第一歩です。

■家庭部門におけるCO₂排出量の構成費(2019年推計値)

北海道 **24.1%** 全国 **14.3%**

■道内の年平均気温

100年で約 **1.6℃** 上昇

※「北海道の気候のこれまでの変化」(札幌管区気象台HPより)

■温室効果ガス排出量合計(2019年推計値)

北海道 **6,734** 万t-CO₂ 全国 **121,200** 万t-CO₂

一人当たり

北海道 **12.8** t-CO₂ 全国の**1.3倍** 全国 **9.6** t-CO₂

北海道の秘めた力を発揮しよう！

北海道は再生可能エネルギーを創り出すポテンシャルが全国随一！

＼ 始まっています！ ／
風力発電

風力発電
導入ポテンシャル
全国1位


寿都町

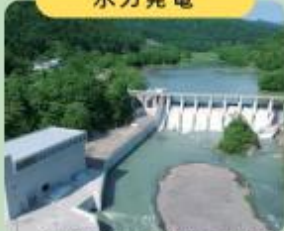
＼ 始まっています！ ／
太陽光発電

太陽光発電
導入ポテンシャル
全国1位


伊達ソーラー発電所(北海道電力)

＼ 始まっています！ ／
水力発電

中小水力発電
導入ポテンシャル
全国1位


清水沢発電所(北海道企業局)

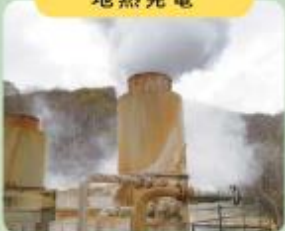
＼ 始まっています！ ／
バイオマス発電

バイオマス
産業都市の数
(38市町村)
全国1位


鹿追町

＼ 始まっています！ ／
地熱発電

地熱発電
導入ポテンシャル
全国2位


奥尻町

森林面積
全国1位



国が選ぶ脱炭素先行地域は北海道が5カ所(石狩市、上士幌町、鹿追町、札幌市、奥尻町)と全国最多(2022年11月1日現在)。
地域の木材やもみ殻、温泉熱などの地域資源を使った取組も道内で進んでいます。

※風力発電、太陽光発電、中小水力発電、地熱発電は「再生可能エネルギー情報提供システム(REPOS)2022年3月修正版」(環境省)
※バイオマス産業都市は2023年1月12日現在(農水省) ※森林面積は森林・林業統計要覧2022(林野庁)



⚡ 再エネの最大限の導入と利用

海底送電ケーブルの整備により
再エネ導入が大幅に拡大

切り札となる
洋上風力発電を推進



北海道の強みや再エネを活かして
データセンターやデジタル・脱炭素関連の企業を誘致!

海底通信ケーブルなどの
デジタルインフラを整備



🏠 ライフスタイルの転換

地元の資源を地元で活用し、災害にも強い地域づくり、地域経済の活性化にもつながる
エネルギーの地産地消



高断熱・高気密の北方型住宅や次世代自動車、3Rなど
脱炭素型ライフスタイルに転換



森林づくりや道産木材の活用、海洋のブルーカーボンなどにより
CO₂吸収量を確保



経済の活性化



地域の雇用創出



**安全・安心
快適な生活**



**森林等の
地域の魅力**

ゼロカーボンを進めることで、北海道のみなさんの暮らしの向上にも繋がります。

みんなで
取り組む

ゼロカーボン北海道チャレンジ!

☑ ゼロカーボンの取組と一緒にチェックして、チャレンジしてみよう! (ゼロチャレ!)

教育



動画で学ぶ
「ゼロカーボンと私たちの未来」
はこちら



衣

- ☐ 愛着ある服を長く大切に着よう
- ☐ 長く着られる服を選んでみよう
- ☐ 服をレンタル・サブスクしてみよう
- ☐ 着なくなった服は
資源として回収に出そう



食

- ☐ 地元の食品や旬の食材を食べよう
- ☐ すぐ食べるものは「てまえどり」
- ☐ 食品ロス削減! 食事をおいしく
残さず食べきろう
- ☐ 食材の買い方、保存方法を工夫しよう



住

- ☐ CO₂排出量を知ろう
- ☐ 住宅の住み替え時に北方型住宅2020や
ZEHの家を選んでみよう
- ☐ 節電・節水に取り組もう
- ☐ 家電の買い替え時に省エネ家電を選ぼう
- ☐ 太陽光パネルを設置しよう



ごみ(廃棄物)

- ☐ プラスチックごみの削減、
マイボトルを持ち歩こう
- ☐ 海をきれいにしよう
- ☐ ごみ拾い運動に参加して
街をきれいにしよう



教育

- ☐ 環境の未来について
考えよう
- ☐ 子どもを通じて親子で学ぼう
- ☐ 家族で環境の
取組をやってみよう



スポーツ・健康

- ☐ 通勤・通学・レジャーでは、
ウォーキングや自転車を利用してみよう
- ☐ 晴れた日は歩いて
健康づくりをしよう
- ☐ できるだけ階段を使って体を動かそう



交通

- ☐ EV車を利用してみよう
- ☐ 自転車や公共交通機関を
利用しよう
- ☐ 車の買い替え時に次世代自動車を選んでみよう
- ☐ エコドライブを実践してみよう



森林

- ☐ 木を植えて、育てて、楽しもう
- ☐ 森林散策で
リフレッシュしよう
- ☐ 暮らしに木を取り入れよう

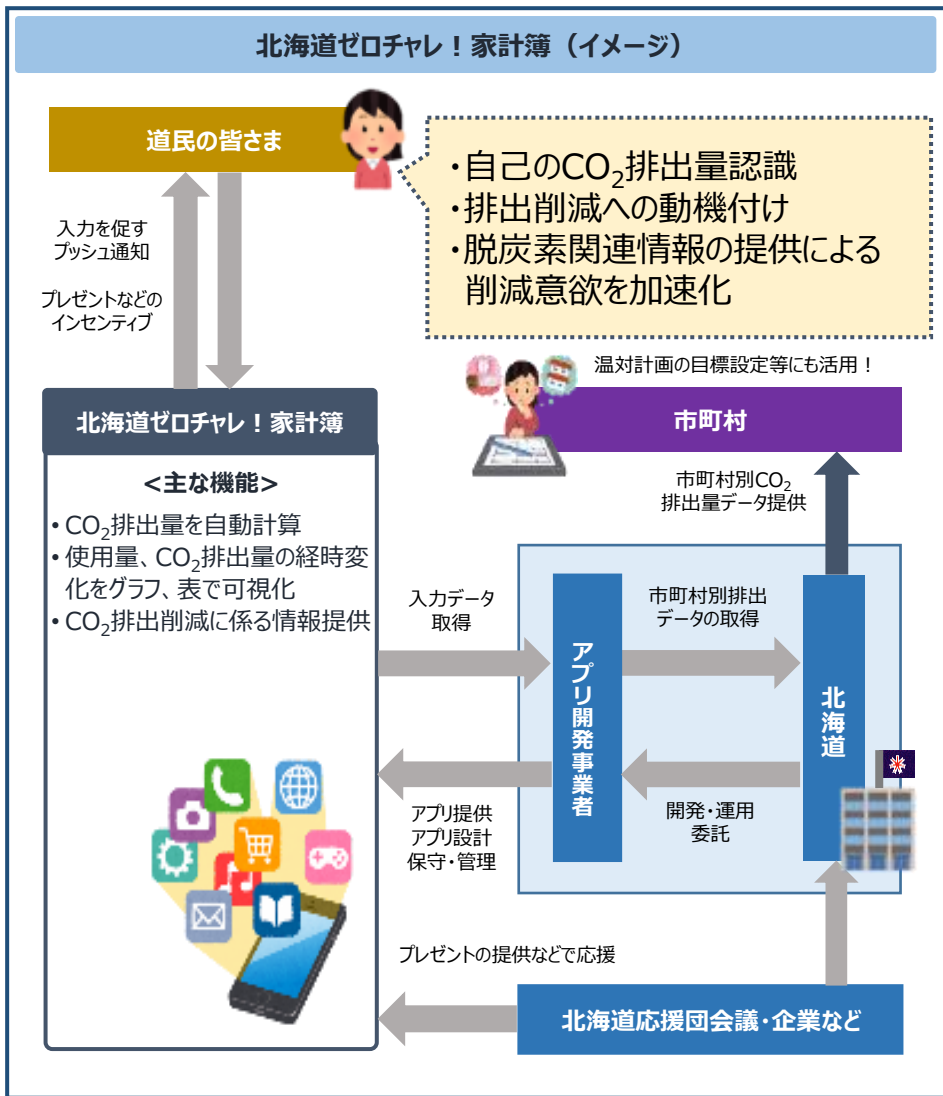


ビジネス

- ☐ CO₂排出量を知ろう
- ☐ 紙の使用を節減しよう
- ☐ ノーマイカー通勤、
ノー残業デーを進めよう
- ☐ 在宅勤務やワーケーションに取り組もう



- 各家庭からの二酸化炭素を「見える化」するためのアプリ「北海道ゼロチャレ！家計簿」を開発し、道民に利用してもらうことにより、**行動変容を促す**とともに、そのデータを活用し**市町村単位での排出量算定を精緻化**
- 民間事業者が自らの活動に伴うCO₂排出量を算定し、WEB上で公表する「北海道排出量ボード」を作成し、**事業者の脱炭素意欲を醸成**



うちの やってみよう！CO₂測定！
北海道ゼロチャレ！家計簿（家庭のCO₂排出量見える化アプリ）

アプリに電気やガス、ガソリン等の使用量を入力
（月に1度～、1回5分程度でOK!）

継続すると・・・
うちからのCO₂排出量がグラフでわかります！

絶賛公開中！

インストールはコチラ⇒
またはアプリストアにて「北海道ゼロチャレ！家計簿」で検索

Web版URL
<https://zerocarbon.pref.hokkaido.lg.jp/>

道民ひとりあたりのCO₂排出量は
全国平均の1.3倍らいてござるな

うちからの排出量が
わかるのは
おもしろい
わね

夏休みの宿題でやってみ
てござる

環境忍者 えご之助

アプリのご利用イメージ

初期設定の入力

毎月の入力

CO₂排出量などの見える化

自家の成果を表示

- 削減効果
- 標準比較
- 12ヵ月グラフ

エネルギー別に使用量、
料金を入力

他のうちと
他府県を比
較できるで
ござる

道内の類似世帯の平均
自家のCO₂排出量

©2023北海道経済部ゼロカーボン推進局地球温暖化対策課
Mail: kikou.zerocarbon@pref.hokkaido.lg.jp
Tel: 011-204-5190

